

MPE720 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

MPE720 Ver5.44 →Ver5.50 の機能追加・改善項目は次のとおりです。

N o.	機能項目	分類
1	SVC モジュール対応	機能追加
2	MP2200-03 対応	機能追加
3	Omron/Melsec プロトコル対応	機能追加
4	Σ Vサーボバックパラメータ追加	機能追加
5	C 言語 MULTiv4 環境対応	機能追加
6	Ethernet-IP ヘッダ情報追加	機能追加
7	ラダーコンバータのコメントファイル変換不具合	不具合修正
8	モーションプログラムビット演算不具合	不具合修正
9	転送機種チェック不具合	不具合修正

2. 修正内容説明

No. 1 SVC モジュール対応

新規に MECHATROLINK III マスタモジュールである SVC モジュールに対応しました。

機能	仕様
伝送速度	100Mbps
伝送周期	125 us／250 us／500 us／1ms
伝送バイト数	16Byte／32Byte／48Byte／64Byte
接続局数	21 局（サーボ 16 軸）／1ms 15 局（サーボ 15 軸）／500μs 8 局（サーボ 8 軸）／250μs 4 局（サーボ 4 軸）／125μs

No. 2 MP2200-03 対応

MP2200-02 を高速化した MP2200-03 に対応しました。

MP2200-03 は、Ethernet とコンパクトフラッシュを標準装備しています。

モジュール詳細 CPU-03 RACK#01 SLOT#00

No.	1	2	3	4	5
モジュール	CPU	SVR	CARD	2181FA	1-EXECUTOR
回線番号	-	01	-	01	1-EXECUTOR
入出力先頭レジスタ番号	----	----	----	0000	UNDEFINED
入出力終了レジスタ番号	----	----	----	07FF	083F
入力DISABLE				Enable	
出力DISABLE				Enable	
モーション先頭レジスタ番号	----	8000	----	----	----
モーション終了レジスタ番号	----	87FF	----	----	----
詳細					
ステータス					

なお、MP2200-03 では C 言語機能で利用できるリンカは MULTiv4.0 のみとなります。

コンフィグレーション

PLC機種 | 動作環境 | 機能指定 | エンジンアロケマネージ | ユーザメニュー
 ユーザ管理 | ファイル転送 | その他 | C言語 | ラグタイムデータ | FLASH保存 | テーブルレス

C言語環境 ☒ 使用する ☐ 使用しない

リンカ GHS(MULTiv4.0)

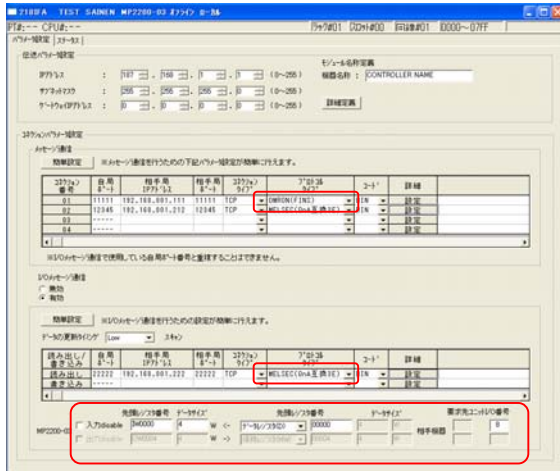
リンカ実行ファイル C:\Green\SH.V430\ccsh.exe 参照

リンカオプション
 -srec -locatedprogram -L -entry=_api_startup -nostdli デフォルト

OK キャンセル リセット

No. 3 Omron/Melsec プロトコル対応

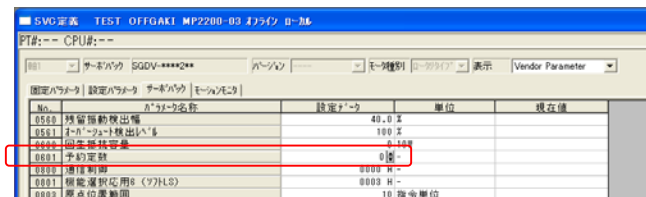
イーサネット通信モジュール (2181FA) において、Omron プロトコル (Fins)、Melsec プロトコルに対応しました。



MP コントローラと MELSEC Q シリーズコントローラ、オムロン製汎用シーケンサとの間で、プロトコルを意識することなくデバイスの読み出し／書き込みが可能になります。

No. 4 ΣV サーボバックパラメータ追加

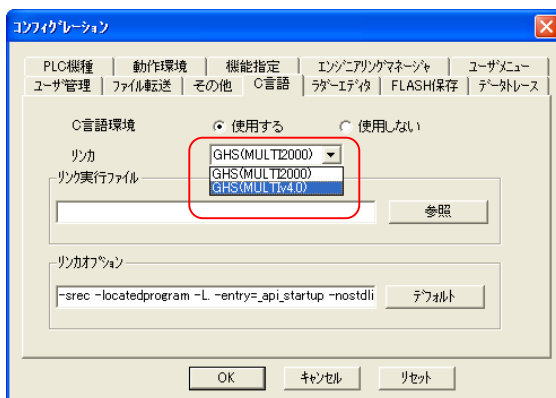
Σ Vサーボパックの Ver0011 以降について、パラメータ Pn601（オプションの回生抵抗ユニット容量）を使用可能にしました。



該当のサーボパックとオンライン接続した場合、もしくはオフラインでΣVを設定している場合、サーボパックパラメータ設定画面で Pn601 に「予約定数」が表示され、データが設定できます。

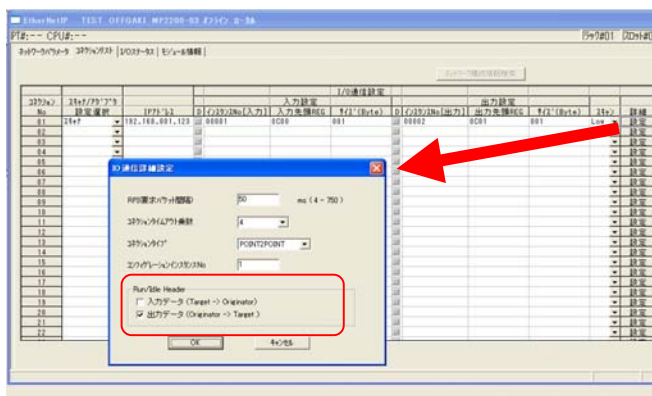
No. 5 C 言語 MULTiv4 環境対応

C 言語開発環境として MP2200-03 からは MULTIVer4.0 となるため、コンフィグレーション画面の C 言語設定で、リンカ設定で MULTI2000 と MULTiv4.0 を選択できるようにしました。



No. 6 Ethernet-IP ヘッダ情報追加

他社 Ethernet-IP 機器と接続する場合、プロトコルに Run/Idle ヘッダの設定が必要な機器が存在するため、263IF モジュール設定に Run/Idle ヘッダの設定を追加しました。

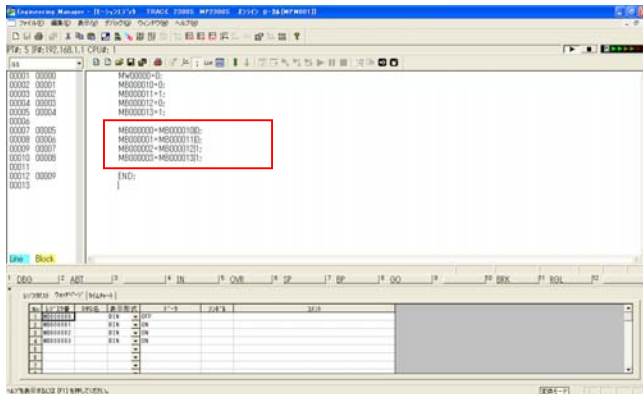


No. 7 ラダーコンバータのコメントファイル変換不具合

変換対象となっていなかったコメントファイル (M. CMT) を変換対象としました。

No. 8 モーションプログラムビット演算不具合

論理演算時に0、もしくは1とのビット演算を行うと誤った演算結果となっていたため、これを修正しました。



No. 9 転送機種チェック不具合

MAL ファイル転送時に、異なる機種の PLC フォルダに転送を行ってもそのまま転送が実行できていたためこれを修正しました。

